

# 衆議院文部科学委員会ニュース

平成 20.11.19 第 170 回国会第 2 号

11 月 19 日、第 2 回の委員会が開かれました。

## 1 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・塩谷文部科学大臣、萩生田文部科学大臣政務官、浮島文部科学大臣政務官、三ツ矢財務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

### 馳 浩君(自民)

- ・学校現場における国旗掲揚・国歌斉唱の指導の在り方について大臣の見解を伺いたい。
- ・大学医学教育において鍼灸マッサージ等の東洋医学の講座を設置する必要性について文部科学省の見解を伺いたい。また、視覚障害者の雇用の拡大の必要性について厚生労働省の見解を伺いたい。
- ・スクールカウンセラーの小・中・高等学校への配置状況と今後の在り方について文部科学省の見解を伺いたい。
- ・留学生 30 万人計画について、2020 年までのロードマップの内容、計画実現に向けた連絡会議の開催状況、優秀な学生の獲得等について大臣の見解を伺いたい。

### 井澤京子君(自民)

- ・日本は教育に対する公財政支出が少ないが、教育格差問題について大臣の見解を伺いたい。
- ・有害情報対策、情報モラル教育にさらに重点的に取り組むことについて大臣政務官の認識を伺いたい。
- ・安全・安心な給食の実施など食育の推進について大臣の見解を伺いたい。
- ・日本映画の振興策について文部科学省の見解を伺いたい。

### 阿部俊子君(自民)

- ・高等専門学校の充実・整備を行うべきであると考えているが、大臣の見解を伺いたい。
- ・看護師の基礎教育 4 年化に向けた取組の現状はどうか。また、医師不足問題が言われる中、必要な医療の提供のため看護師を活用すべきと考えるがどうか。
- ・特別支援教育の充実に向けた平成 21 年度の取組について、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・放課後子どもプランについて、文部科学省と厚生労働省の連携状況及び学童保育における指導員の確保、資質の向上について見解を伺いたい。

### 池坊保子君(公明)

- ・文化芸術への取組は経済効果や付加価値をもたらすと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・芸術振興のために廃校となった校舎跡など地域の公共施設を活用することについて文化庁の取組状況を伺いたい。
- ・文化芸術に係る寄付金控除を 50%に引き上げるべきと思うが、財務省の見解を伺いたい。
- ・音楽家・芸術家等を地域に周知するための登録制度(アーティストバンク)を創設する必要があると考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。

### 田島一成君(民主)

- ・ひき逃げ事件の多発など社会の乱れについて大臣の所感を伺いたい。
- ・すべての子どもに学ぶ機会を提供するという考えに基づき、先国会でいわゆる教科書バリアフリー法が成立したが、拡大教科書の作成が遅れている。この現状について大臣の認識とその普及に向けた文部科学省の取組を伺いたい。
- ・平成 21 年度概算要求において教員給与を縮減している理由を大臣に伺いたい。
- ・国立大学法人に対する運営費交付金の減額は未来に役立つ基礎研究の芽をつみ取ることにつながると思うが、財務省の見解を伺いたい。

### 和田隆志君(民主)

- ・改正労働安全衛生法(平成 18 年 4 月 1 日施行)に規定された長時間労働者に対する面接指導が、教員については、勤務時間管理が十分でないことから実施できない実態について、大臣の見解を伺いたい。
- ・主幹教諭など新たな職の創設により、管理職的な教員は増員されても、学校現場で必要とされる子どもと向き合う教員が十分配置されていないのではないかと。
- ・新学習指導要領の実施など文部科学省の施策の方向が、

PISA調査で明らかになっている学力の低いグループの児童生徒の学力レベルを上げることに効果があるのか。

### **市 村 浩一郎君（民主）**

- ・セネガル留学生が年齢を詐称して入国、高校に入学し、バスケットボールの選手として全国大会で優勝したことが教育に及ぼした影響について、大臣の見解を伺いたい。
- ・文部科学省は、留学生の入国、高校入学などにあたり十分年齢を確認する方策や、当該校の戦績の取扱いについて速やかに対応すべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。

### **細 野 豪 志君（民主）**

- ・博物館における展示物の調達について、評価額の決定方式の見直し、評価員の氏名の公表など、その在り方を見直す必要があると考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・評価員が所蔵者の買取希望価格を事前に知り、その価格を参考に価格評価を行うなどの不正が行われた場合の責任の所在をどのように考えるか。

### **石 井 郁 子君（共産）**

- ・平成20年度全国学力・学習状況調査（全国学力調査）について、都道府県が市町村別の、市町村が学校別の結果を公表している事例は、実施要領に照らしてどうなのか、大臣の見解を伺いたい。
- ・知事が全国学力調査の結果を公表することにより、学力調査のルールが壊されることになるのではないか。来年以降の実施を見直すべきではないか。
- ・文部科学省による都道府県別結果の公表が序列化や過度の競争を招くことにつながるのではないか。

### **日 森 文 尋君（社民）**

- ・都道府県及び政令指定都市で実施している独自の学力調査と全国学力調査との違いについて、文部科学省に伺いたい。
- ・全国学力調査を小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象に行う必要性について、学校現場などから疑問が出されているが、文部科学省はどのように考えているか。
- ・教員免許更新制について、予備講習の結果を踏まえ、教員のニーズに合った講習内容、受講者の費用負担、修了認定の在り方などについて、文部科学省はどのように考えているのか。